

平成 26 年度

事 業 概 要

平成 26 年 4 月

国土交通省 中部地方整備局
北勢国道事務所

ミッショント(使命)



北勢国道事務所は、北勢・伊賀地域の道路整備を通して、道路交通渋滞の緩和や道路交通事故の削減等を図り、「活力ある社会」「安全・安心」「生活環境の創造」に貢献します。

道路事業の目標

三重県の北勢地域、伊賀地域は、中部圏と関西圏を結ぶ交通の要となる地域で、産業や観光等が活発な三重県全域を牽引する元気な地域ですが、慢性的な道路交通渋滞や交通事故が多発する地域でもあり、暮らしや経済等に大きな影響を与えています。

この為、それらの解消と更なる発展のために次の三つを目標に定め、この実現に努めます。これにより、三重県民の元気づくり『県民しあわせプラン』を支援します。

暮らしや産業を支える活力ある社会の形成

都市部に集中する通勤や沿岸部の物流交通等により発生する慢性的な道路交通渋滞を緩和し、活力ある社会の実現に向け、道路ネットワークの構築を効率的に進めます。

- 高規格道路ネットワークの形成
 - ・ 国道475号東海環状自動車道：北勢地域の高速アクセスの向上
- 広域的ネットワークを支援し、都市の骨格となる道づくり
 - ・ 国道1号北勢バイパス：四日市都市圏の渋滞緩和
 - ・ 国道1号関バイパス：亀山IC周辺の渋滞緩和
 - ・ 国道1号桑名東部拡幅：伊勢大橋の架け替えと渋滞緩和
 - ・ 国道258号大桑道路：桑名・大垣間の渋滞緩和

安全・安心できる暮らしの確保

安全・安心な暮らしの実現に向け、交通事故対策や道路施設の耐震強化及び防災対策を進めます。

- 安心・安全な道路づくり
 - ・ 国道25号名阪国道：亀山・伊賀地域の道路交通の安全・安心の向上

質の高い生活環境の創造への支援

歩行者、自転車などの幅広い道路利用者への道路空間を利用した各種サービスの提供及び沿道環境の保全等により、質の高い生活空間の創造を支援します。

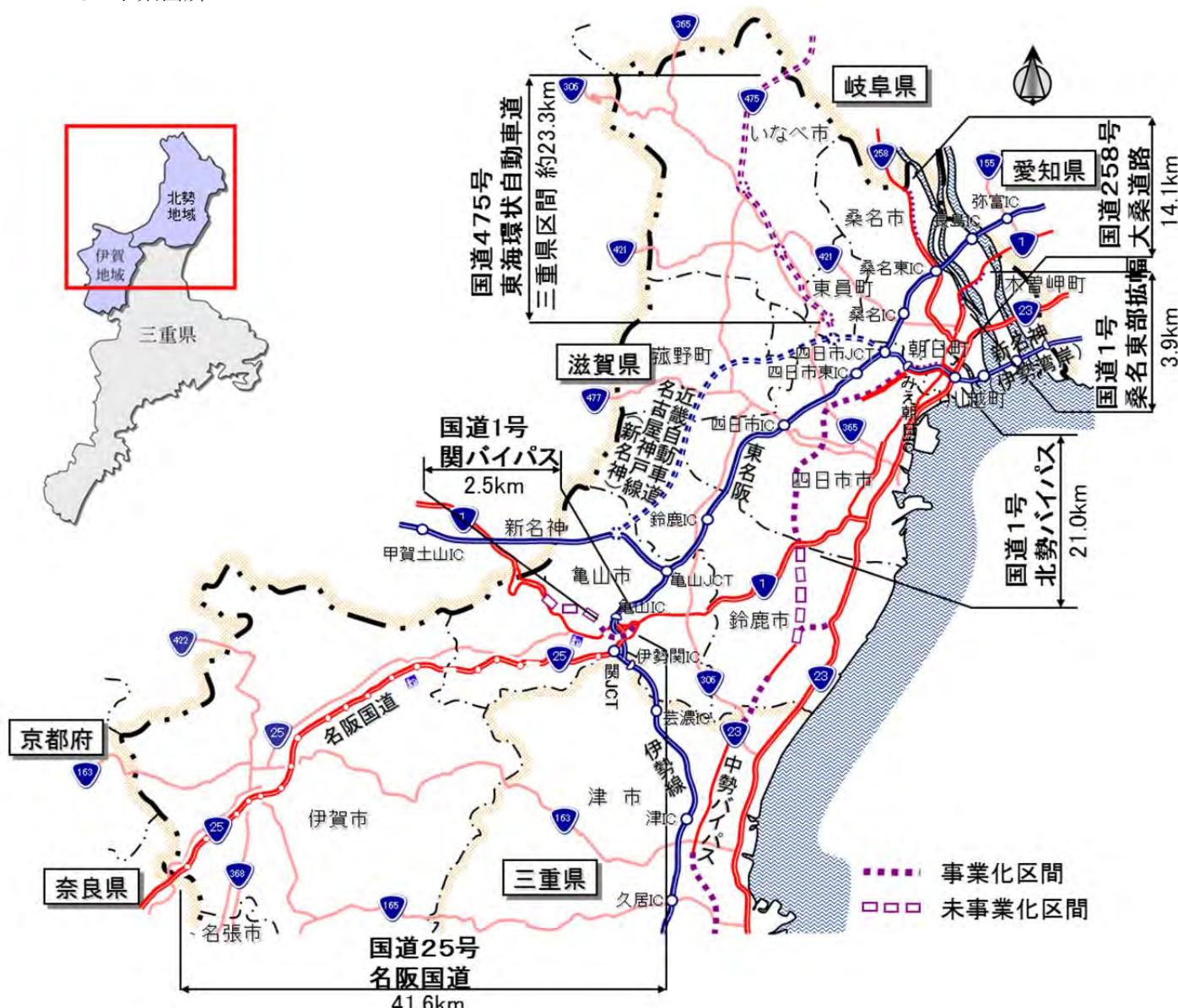
1. 北勢国道事務所の所管

北勢国道事務所は、国道1号、25号、258号、475号の4路線、約106kmの整備事業を担当するとともに、国道25号名阪国道（延長41.6km）の維持管理を担当しています。

広域的なネットワークの形成を図る国道1号北勢バイパスと関バイパスの整備、国道1号桑名東部拡幅、国道258号大桑道路の現道拡幅事業及び高規格道路ネットワークを形成する高規格幹線道路の国道475号東海環状自動車道（三重・岐阜県境～四日市市）の整備・推進を行っています。

交通事故や老朽化する道路施設に対応するため、国道25号名阪国道（三重県区間）の交通安全対策の整備方針に基づいた、インター改良・路肩拡幅等の交通安全対策及び橋の耐震補強等を推進するとともに日常の維持管理、損傷した施設の修繕を行っています。

○ 事業箇所



北勢国道事務所事業箇所

路線名	箇所名	事業延長 (km)	区間
1号	桑名東部拡幅	3.9	桑名市長島町又木～同市北浜町
	北勢バイパス	21.0	三重郡川越町～四日市市采女
	関バイパス	2.5	亀山市太岡寺町～同市関町鷺山
258号	大桑道路	14.1	桑名市多度町柚井～同市城南和泉
475号	東海環状自動車道 (養老～北勢)	9.0	岐阜・三重県境～いなべ市北勢町
	東海環状自動車道 (北勢～四日市)	14.4	いなべ市北勢町～四日市市北山村
25号	名阪国道 (交通安全関係等)	41.6	亀山市太岡寺町～伊賀市治田

2. 北勢国道事務所の事業費

○ 平成26年度事業費

(百万円)

費目	H26年度当初	備考	
		平成25年度補正 (平成26年2月)	
国道1号桑名東部拡幅	2,769	-	
国道1号北勢バイパス	1,142	345	
国道1号関バイパス	10	-	
国道258号大桑道路	189	-	
国道475号東海環状自動車道	8,701	610	
国道25号名阪国道 (交通安全関係等)	1,276	-	

※国道25号名阪国道の維持修繕事業費等は含んでいません。

3. 北勢国道事務所の事業内容

○平成26年度の事業内容

桑名東部拡幅 : 桑名市長島町叉木～桑名市北浜町間の伊勢大橋架替に必要な改良工事、橋梁工事等を推進します。

北勢バイパス : 四日市市垂坂町～^{よっかいちしたるさかちょう}日永八郷線間の平成26年度暫定2車線開通を目指し、橋梁上部工事及び舗装工事等を推進。^{ひながやまと}日永八郷線～国道477号間の改良工事及び用地取得等、国道477号～四日市市采女（国道1号）間の調査設計を推進します。

関バイパス : 亀山市小野町～同市関町鷺山間の道路設計等を推進します。

大桑道路 : 桑名市多度町香取～桑名市多度町下野代間の平成26年度4車線化を目指し、舗装工事を推進。^{くわなしたどちょうゆ}桑名市多度町柚井～桑名市多度町香取間は、平成27年度の4車線化を目指し、橋梁工事等を推進します。

東海環状自動車道 : 東員IC（仮称）～四日市北JCT（仮称）間の平成27年度完成4車線開通を目指し、改良工事等を推進。
北勢IC（仮称）～東員IC（仮称）間の橋梁上下部工事、道路設計等を推進。県境～北勢IC（仮称）間の用地取得及び埋蔵文化財調査等を推進するとともに、本線改良工事に向けた準備工事に着手します。

名阪国道 : 国道25号名阪国道のインターチェンジ改良工事、路肩（交通安全関係等）拡幅工事、区画線工事等を推進します。

国道 1 号桑名東部拡幅

1. 目的

一般国道 1 号桑名東部拡幅は、現道の 4 車線拡幅による渋滞緩和、交通安全確保及び昭和 9 年架橋で老朽化の著しい伊勢大橋の架替を目的に計画された拡幅事業です。

2. 概要

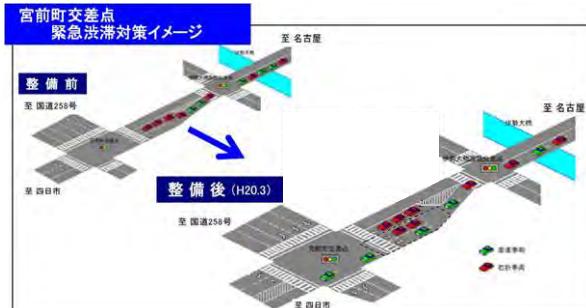
桑名東部拡幅は、桑名市長島町又木～同市北浜町間の延長 3.9km の現道拡幅事業です。

本年度は、伊勢大橋架替関連区間（延長 2.1km）について、改良工事、橋梁工事等を推進します。

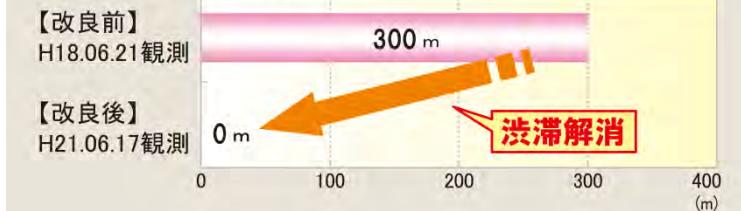


幹線道路の交通混雑緩和・解消

平成19年12月の宮前交差点改良が完成し、交差点の渋滞が緩和しました。

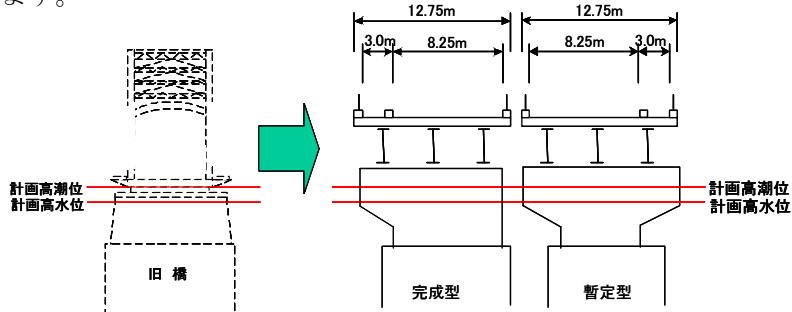


宮前町交差点下り方向の渋滞長変化



安全な生活環境の強化

- 新しい橋は、従来と比べ橋が高く橋脚も細くなるため、川の流れがスムーズになり、周辺地域の水害の恐れが少なくなります。



伊勢大橋の老朽化対策

- 伊勢大橋は、昭和9年度（79年経過）に竣工し、長年の雨水・塩害影響により老朽化が進んでいます。
- 最新の橋梁の基準に基づいて設計することから、耐震性に優れた橋になります。そのため、地震時の避難経路や緊急輸送路の確保することができます。

〈中堤上流からの全景〉



国道1号北勢バイパス

1. 目的

北勢バイパスは、四日市市を中心とする北勢地域の環状道路として、国道1号・23号等の渋滞緩和、交通安全の確保及び地域開発の支援を目的に計画された道路です。

2. 概要

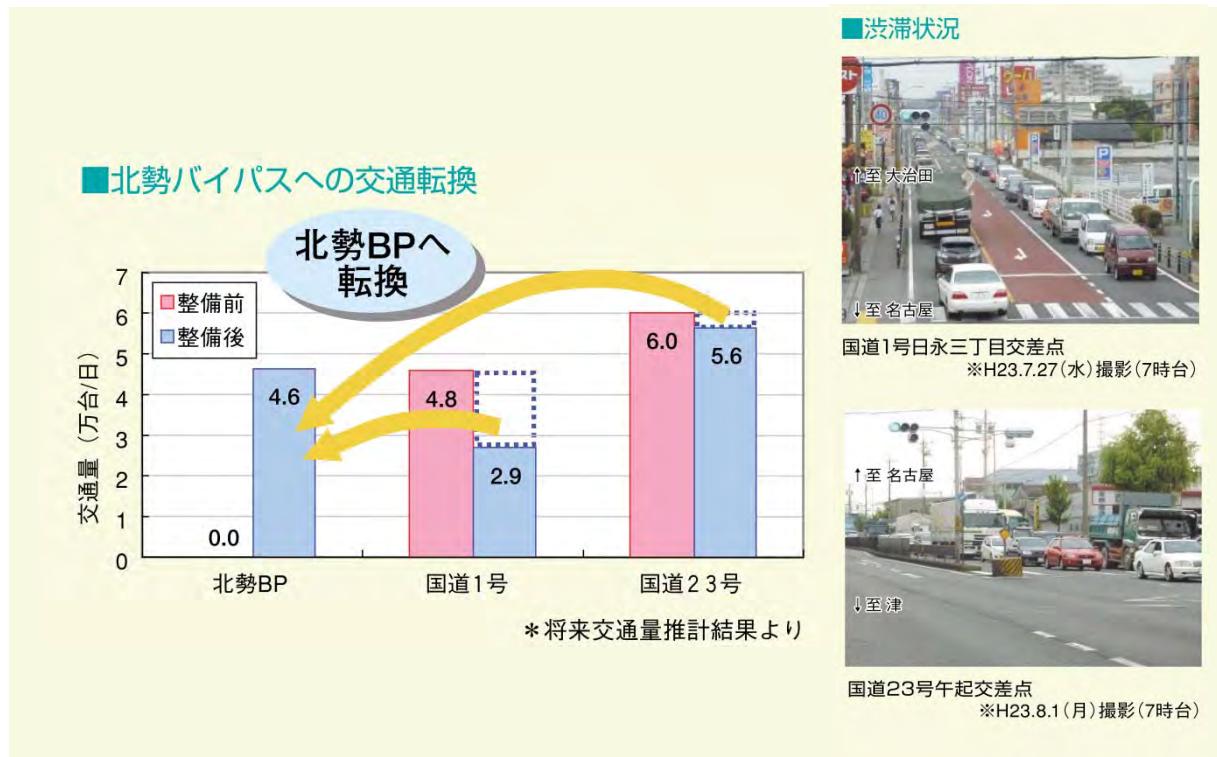
北勢バイパスは、三重郡川越町南福崎（国道23号名四国道）～鈴鹿市稻生町（国道23号中勢バイパス）に至る延長約28kmの幹線道路で、現在、みえ川越IC～三重郡朝日町小向（国道1号）までの延長1.2kmを完成4車線で、三重郡朝日町小向～垂坂1号線までの延長5.9kmを暫定2車線で開通しています。また、四日市市垂坂町～日永八郷線区間（延長1.4km）について、平成26年度暫定2車線開通を目指しています。

本年度は、四日市市垂坂町～日永八郷線において橋梁上部工事、舗装工事等を進めるとともに、日永八郷線～国道477号の改良工事及び用地取得等、国道477号～四日市市采女（国道1号）間の調査設計を推進します。



北勢バイパスにより通過交通が転換、並行区間の渋滞が緩和

・北勢バイパスの整備により、通過交通を分担するバイパス機能を発揮し、交通転換により交通渋滞を緩和します。



北勢バイパス周辺地域の現状と課題

災害に強い道路機能の確保

北勢バイパス周辺の北勢地域では、一般国道1号及び23号が緊急輸送路(1次)に指定されていますが、東海・東南海・南海同時発生の際は、津波による浸水被害を受けると予想されている区域内に位置しています。

内陸部に位置する北勢バイパスの整備により、津波浸水域外の緊急輸送道路が確保され、災害時の物資輸送を支援できます。

[東海・東南海・南海地震同時発生時の津波浸水予測]



津波の浸水予測（平成23年度版）
(防潮堤等の施設がないとした場合、M8.7)
出典：三重県防災対策部

大規模事故発生時等における代替機能の確保

北勢バイパスの整備により、国道1号及び23号における大規模事故発生時等による通行不能時の代替路が確保されます。

[北勢バイパスを利用した沿岸部アクセス]



国道 1 号関バイパス

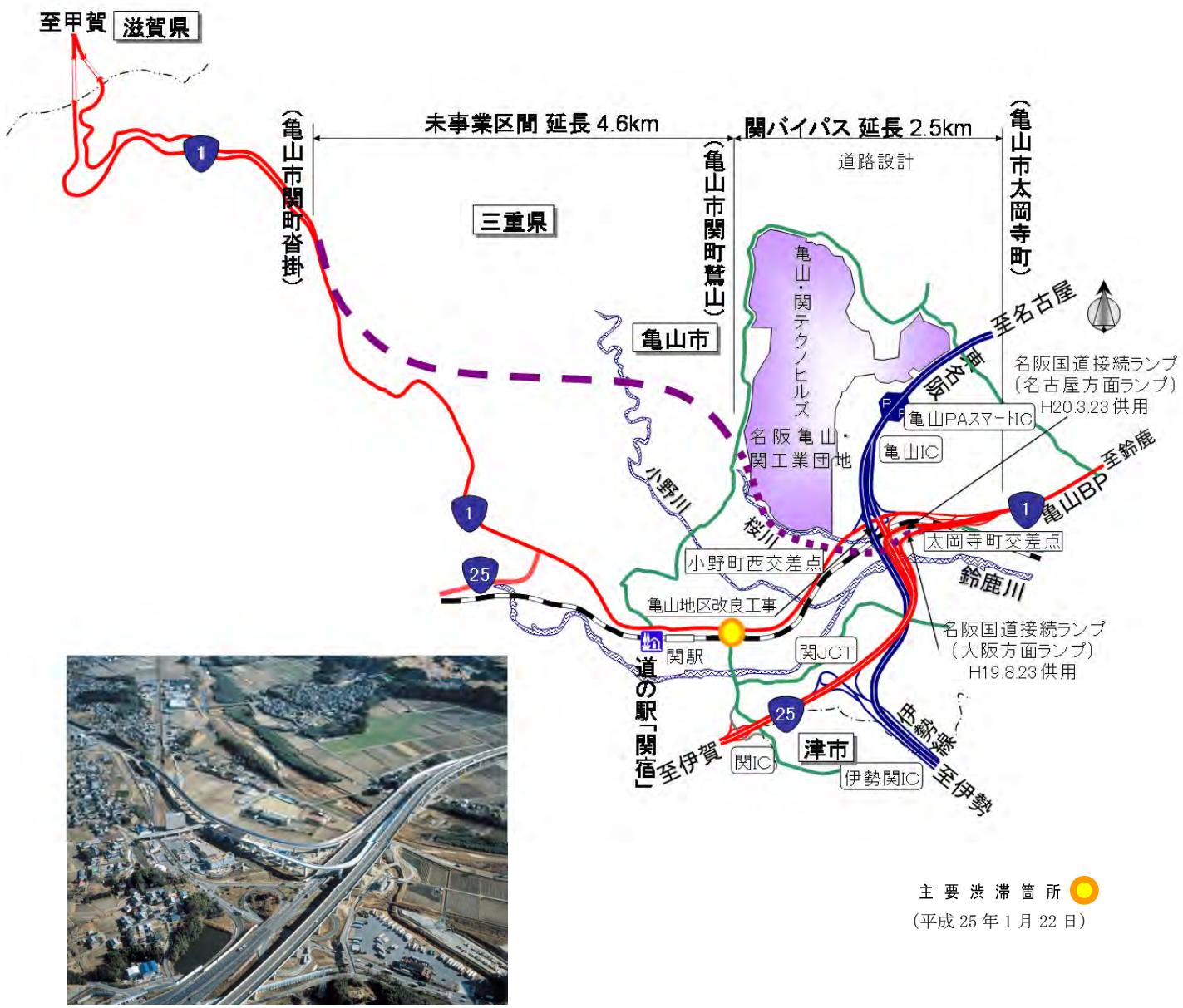
1. 目的

関バイパスは、国道 1 号の増加する交通量への対応、交通安全の確保を図り、さらには地域発展の核となるプロジェクトの支援を目的に計画された道路です。

2. 概要

関バイパスは、亀山市太岡寺町～同市関町沓掛迄の延長約7.1kmの幹線道路で、平成19年度に名阪接続ランプを開通しています。これにより、国道 1 号太岡寺交差点の渋滞が緩和されました。

本年度は、亀山市小野町～同市関町鷲山間の道路設計等を推進します。



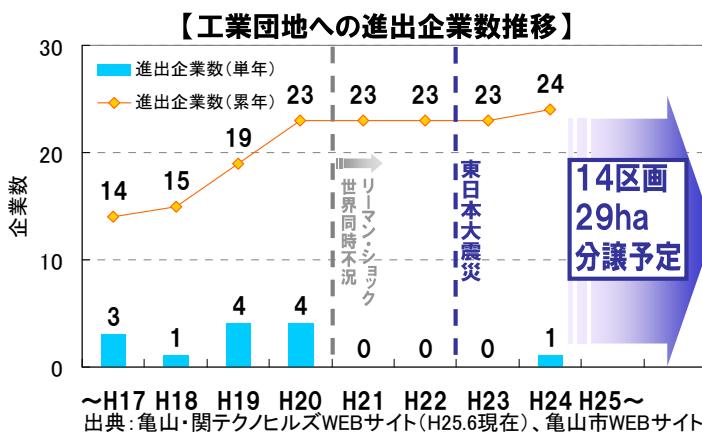
関バイパス 名阪接続ランプ

地域経済の支援

現在の交通状況

平成19年度の国道1号と名阪国道を直結するランプ開通により、太岡寺町交差点の渋滞が改善されました。しかし、亀山市関町市街地の国道1号木崎交差点が主要渋滞箇所となっているなど、日常的に渋滞が発生しています。また、東日本大震災を契機として、災害に対するリスク分散により隣接工業団地への企業進出の動きが顕在化しています。

関バイパスの開通により、交通が分散し、現道の交通混雑が緩和するとともに、工業団地のアクセス性向上に寄与します。



バイパス整備により地域環境が良好に

- 平成19年度に2本のランプ（連絡路）が完成したことで交通が分散して渋滞が減少。
- 国道1号太岡寺町交差点では、朝夕の交通ラッシュ時に最大渋滞長700m（通過時間7分）の渋滞が発生していました。大阪行きランプに交通量の約5割が転換することで、それらが70m（2分30秒）に短縮しました。



国道25号名阪道路（交通安全関係等）

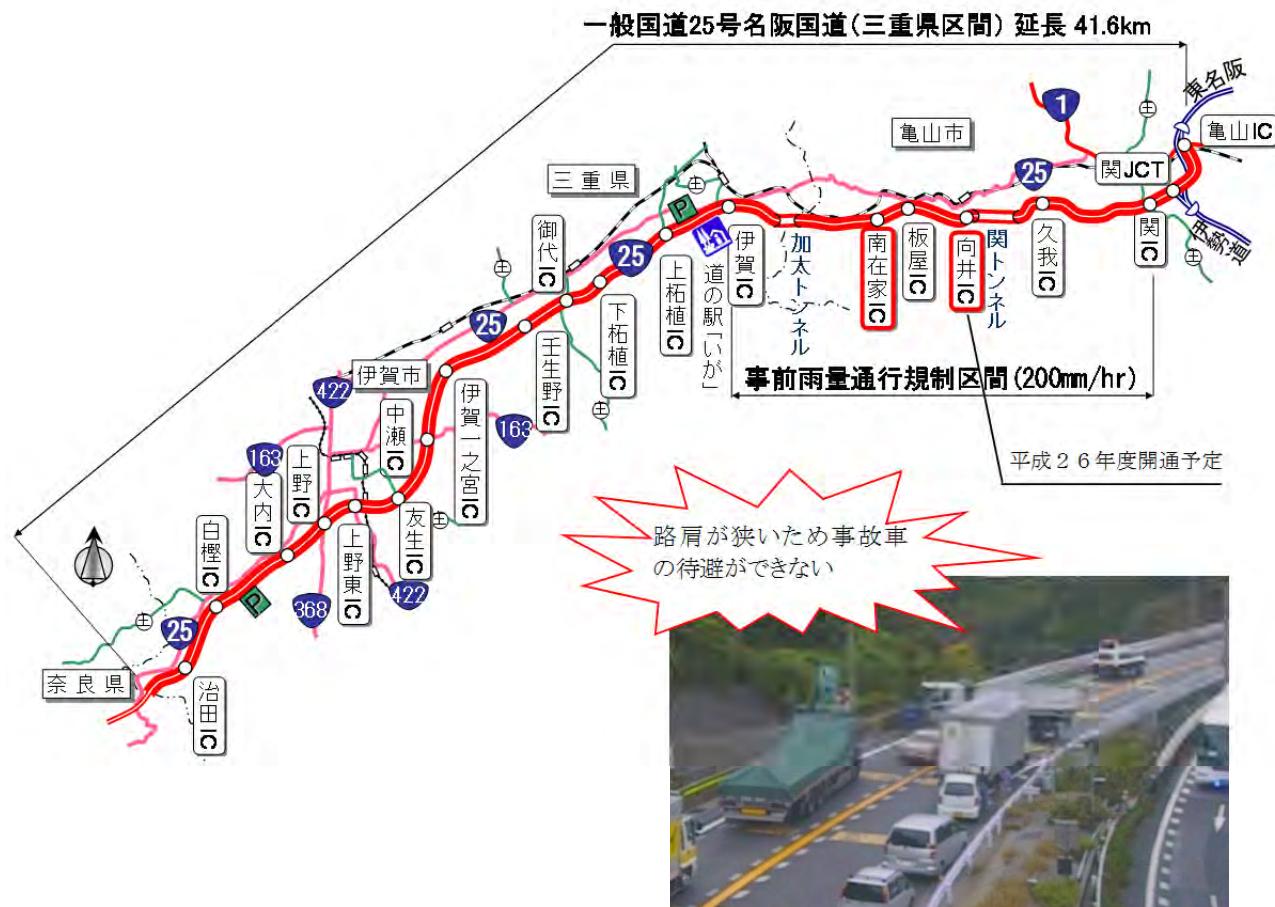
1. 目的

名阪国道は、三重県亀山市から奈良県天理市までの自動車専用道路であり、東名阪自動車道、西名阪自動車道と直結し、国土軸である名神高速道路の代替機能を有する道路です。

2. 概要

国道25号名阪国道は、三重県亀山市太岡寺町～奈良県天理市櫟本町迄の延長約73.2km(三重県内延長41.6km)の一般国道の自動車専用道路として建設され、昭和40年12月に暫定2車線で開通し、昭和55年3月には全線4車線で完成しました。現在は、増加する交通事故等の課題に対処するため、インターチェンジ改良や路肩拡幅等の道路構造の改善を進めるとともに、事前雨量通行規制区間の解除を目指した防災対策や耐震補強及び橋梁の長寿命化を進めています。

本年度は、向井ICの完成を目指し、インターチェンジ改良を推進するとともに、南在家ICのインターチェンジ改良、路肩拡幅及び区画線工事等を推進します。



6万台／日(大型車率50%)の交通が流動する名阪国道。
渋滞や事故による通行障害により、生産活動や市民生活に大きな損失を与えている。

交通事故の抑制へ向けて

名阪国道で実施されている主な安全対策



■交通安全対策(ハード)

インターチェンジ変速車線と本線の合流部での事故対策として、
変速車線の延伸等を進めています。



■交通安全対策(ソフト)

インターチェンジ変更車線と本線の合流部での注意喚起として、合流
車情報板の設置などを進めています。

その他、事故抑制のため注意喚起の看板設置等を進めています。
又、道路利用者に国道25号名阪国道を安全に走行して頂くために「名
阪国道セーフティーマップ」「名阪国道死亡事故全国ワースト1脱出作
戦」を作成し、配布しています。

死亡事故件数の高い名阪国道の安全走行を考えるため、地域の代表者、道路利用者、
交通・道路管理者、行政による懇談会を平成18年度に設置し、ご意見を聞きながら
交通安全対策（ソフト・ハード）を推進しています。



平成25年度懇談会（平成26年3月19日）

延命化・耐震対策

名阪国道は、昭和40年の開通後、40年以上が経過してい
ます。また交通量は飛躍的に伸び、大型車も多いため、舗装
はひび割れやポットホール（穴ぼこ）等が発生し、橋梁・トン
ネルにおいても老朽化が進んでいます。そのため、老朽化
した名阪国道の延命化に向けて、維持補修を実施しています。
また、橋梁の耐震対策などにより災害に強い安心な道路づ
くりを推進しています。



傷んだ道路 傷んだ橋

〈橋梁耐震対策〉

阪神大震災などの教訓を踏
まえ、橋梁の橋脚補強や落
橋防止などの耐震補強を実
施しています。



落橋防止装置

〈路面段差対策〉

巨大地震により、橋梁など
の背面に段差が発生し、交
通に支障がおきないように、
踏掛版やプレキャスト版を
設置する段差対策を実施し
ています。



踏掛版工完成

国道 258 号大桑道路

1. 目的

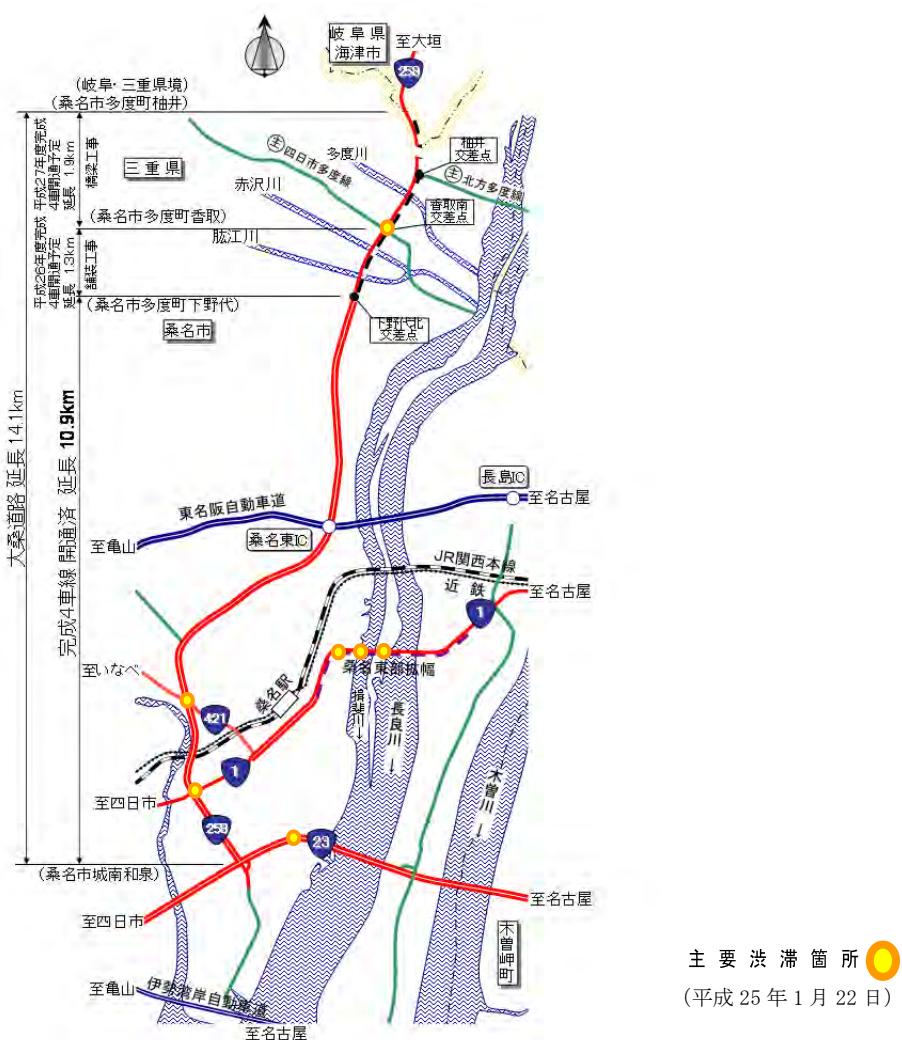
一般国道 258 号大桑道路は、岐阜県西濃地域と三重県北勢地域間の円滑な交通流確保及び地域開発支援を目的に計画された道路です。

2. 概要

大桑道路は、延長 41.6km（三重県内延長 14.1km）の幹線道路で、昭和 50 年度までに全線暫定 2 車線で開通し、現在は、交通量の増大、車両の大型化に伴い、順次 4 車線化を進めています。このうち三重県区間の桑名市多度町下野代～同市城南和泉迄の延長 10.9km の 4 車線が完成しています。

また、桑名市多度町香取～桑名市多度町下野代間（延長 1.3km）について、平成 26 年度 4 車線開通を、桑名市多度町柚井～桑名市多度町香取間（延長 1.9km）について、平成 27 年度 4 車線開通を目指しています。

本年度は、桑名市多度町香取～桑名市多度町下野代間において舗装工事を推進し、桑名市多度町柚井～桑名市多度町香取間において橋梁工事等を推進します。

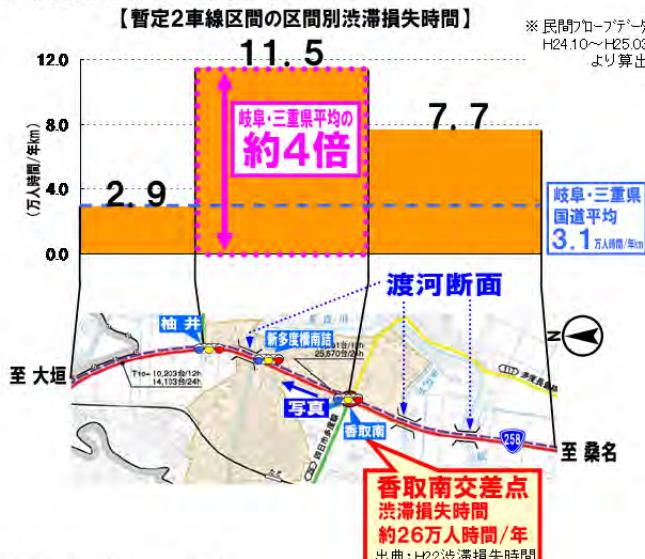


交通渋滞の緩和

国道258号の暫定2車線区間の渋滞損失時間は、岐阜・三重県国道平均の約4倍と高い状態です。桑名市多度町中心部付近の香取南交差点～柚井交差点区間では、約26万人時間／年の渋滞損失時間が発生しています。

大桑道路の4車線拡幅整備により、渋滞損失時間が約1割削減され、交通渋滞の緩和が図れます。

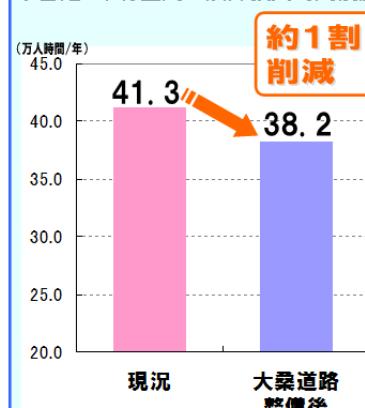
◆暫定2車線区間の交通状況



※ 民間プローフデータ
H24.10～H25.03
より算出

整備効果

◆暫定2車線区間の渋滞損失時間削減



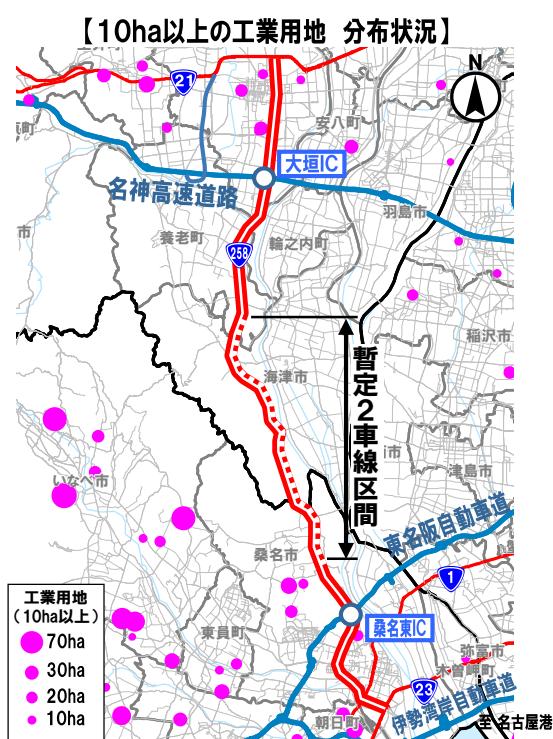
※渋滞損失時間の算定方法
現況 (H2.4) : 渋滞損失時間(民間プローブデータより算出)
大桑道路整備後 : 交通量推計により整備あり・なしにおける渋滞損失時間の変化率を求め、現況値に乘じて算定。

物流効率化の支援

国道258号は岐阜県西濃地域と三重県北勢地域間を結ぶ唯一の幹線道路であるが、暫定2車線区間の主要な交差点を含む区間では、日中において速度低下による交通渋滞が発生しており、輸送の効率性を低下させています。

大桑道路の4車線化整備により、交通混雑が緩和し産業物流における定時制性が確保されるとともに、所要時間の短縮で速達性を高めることで、物流効率化を支援します。

◆国道258号沿線地域の工業用地分布



◆沿線企業における国道258号利用状況

【大垣市:A社(製造業)】

- ・三重県伊賀方面に1日5回、時間指定で輸送している。
- ・国道258号の渋滞を避けるため、大垣から桑名市内は、迂回ルートを利用し、258号は部分利用している状況。

【四日市市:B社(運輸業)】

- ・国道258号は、四日市コンビナートから岐阜県西濃地域や滋賀県等に輸送する唯一のルートである。
- ・配送計画では、現地着時間が指定されており、24時間体制で1台あたり1日2～3往復することとなるが、迂回路がないため、交通渋滞により定時性が損なわれてしまう。

出典：北勢国道事務所ヒアリング調査(H25.8)

整備効果

◆4車線化による定時性・速達性の向上

大桑道路 → 所要時間14分短縮 整備後 定時性の確保



※所要時間の算定方法

現況(暫定2車線): H22道路交通センサス混雑時旅行度および交通状況調査結果(H25.8)より算出
大桑道路(4車線): 交通量推計により整備あり・なしにおける所要時間時間の変化率を求め現況値に乘じて算出

国道475号東海環状自動車道

1. 目的

国道475号東海環状自動車道のうち、「養老～北勢」区間は、養老山脈に隔てられた岐阜県西濃地域と三重県北勢地域を直結することで、高速交通ネットワークを形成し、地域開発を支援することを目的とし、「北勢～四日市」区間は新名神高速道路と一体となって、三重県北勢地域の道路網の形成、交通結節点である四日市港への集積拡大による活性化、内陸部の適正な開発等を図ることを目的とした道路です。

2. 概要

東海環状自動車道は、延長約160km（三重県内延長23.3km）の一般国道の自動車専用道路で、現在、東回り（豊田東JCT～関広見IC間）区間の延長約76kmと、西回り区間（関広見IC～四日市北JCT（仮称）間）のうち大垣西IC～養老JCTまでの延長約6kmが開通しています。

三重県内では、平成2年度に北勢IC（仮称）～新名神高速道路に接続する四日市北JCT（仮称）迄の延長14.4kmを事業着手し、平成19年度に岐阜・三重県境～北勢IC（仮称）迄の延長8.9kmを事業着手しており、東員IC（仮称）～四日市北JCT（仮称）間の平成27年度開通を目指しています。



本年度は、以下の事業を推進します。

- ・東員IC（仮称）～四日市北JCT（仮称）間については、改良工事等を推進します。
- ・北勢IC（仮称）～東員IC（仮称）間については、橋梁上下部工事、道路設計等を推進します。
- ・県境～北勢IC（仮称）間については、用地取得及び埋蔵文化財調査を推進するとともに、本線改良工事に向けた準備工事に着手します。

所要時間の短縮

名古屋圏の諸都市がともに連結されることにより、都市間の所要時間が短縮され、利便性が向上します。

※下図内の移動時間は各市役所間の所要時間で、岐阜市・関市は関市役所を基準にしています。
また、旅行速度を東海環状70~100km/h、一般道30km/hで算定しています。

■東海3県の主要都市間の所要時間が短縮し連携が強まる



図 東海環状自動車道開通後の沿線都市間の所要時間

医療機関へのアクセス向上

救命救急センターに30分以内に行ける地域が拡大することで、より多くの方々の生命が守られます。

※出血多量の場合は、30分以内に病院に搬送できれば、5割の方の命が助かるとされています。

出典:カーラー救命曲線

東海環状の整備により
桑名・いなべ生活圏における
人口カバー率が上昇
71% → 87%



【救命救急センター】とは…
初期、第二次医療施設の後方病院で、重症及び複数の診療科領域にわたるすべての重篤な救急患者を24時間体制で受け入れる医療施設です。



図 地域救命救急センター30分アクセス圏域

災害に強い道路

東海環状自動車道は、海拔ゼロメートル地帯を迂回しており、高架構造が大半を占めるため、河川氾濫等の浸水時にも避難・救助・復旧・復興のための道路ネットワークとして役割を果たすことが期待できます。

■高架構造が大半であるため、避難・救助・復旧・復興活動に寄与

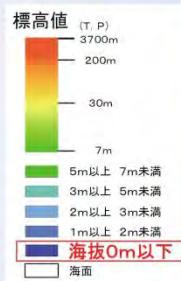


図 東海環状自動車道と海拔ゼロメートル地帯

地域経済活性化の支援

東海環状自動車道西回り区間の整備により、名古屋港・四日市港からの60分圏域が拡大し、名古屋港・四日市港の背後圏への物流の効率化が可能となります。

更に西回り区間沿線において、工業団地の整備・計画が進められており、西回り区間の開通により、沿線市町の地域経済の活性化が期待できます。

- : 工業団地（計画含む）
- : 東海環状自動車道整備後の60分圏域拡大区域
- : 東海環状自動車道整備前の60分圏域

() のIC・JCT名は仮称 (H22年度末現在)

デジタルロードマップより名古屋港・四日市港60分圏域を計算
事業所数・製造品出荷額は、H17工業
統計メッシュデータから計算



図 西回り区間沿線での工業団地の立地・計画状況および名古屋港・四日市港の60分圏域の拡大

○ 諸元一覧

路線名	1号			258号	475号		25号
箇所名	くわなとうぶかくふく 桑名東部拡幅	ほくせい 北勢バイパス	せき 閑バイパス	だいそう 大桑道路	とうかい 東海環状自動車道（三重県区間）	名阪国道	
当事務所 事業区間	くわなしながしまわよまたぎ 桑名市長島町又木～ きたはまちよう 同市北浜町	みえぐんかねごえとちようみみくさき 三重郡川越町南福崎 よつかいちしうねめ ～四日市市采女	かめやましのうじょうじょう 亀山市太岡寺町～ さきちょうわしやま 同市閑町鷺山	たどりとうゆい 桑名市多度町袖井 じょうなんいすみ ～同市城南和泉	岐阜三重県境～ ほくせいちよう いなべ市北勢町 いなべ市北勢町～ 四日市市北山町	ほくせいちよう いなべ市北勢町～ さきやまちよう 四日市市北山町	みめやましのうじょう 亀山市大岡寺町～三 重・奈良県境
	延長3.9km	延長21.0km	延長2.5km	延長14.1km	延長8.9km	延長14.4km	延長41.6km
	一	計画延長約28.4km	計画延長約7.1km	全線延長41.6km	三重県区間延長23.3km 全線延長L約160km		全線延長73.2km
	第4種1級 60km/h	第3種1級 80 km/h (一部60km/h)	第3種2級 60km/h	第3種2級 (第4種1級) 60km/h	第1種2級 100km/h		第3種1級 60, 80 km/h
標準幅員	幅員30m 4車線	幅員25m 4車線	幅員28m 4車線	幅員22m 4車線	幅員23.5m 4車線		幅員22m 4車線
事業着手	昭和51年度	平成4年度	昭和49年度 平成8年度(復活) 平成15年度(延伸)	昭和40年度	平成10年度 (着工準備) 平成19年度 (着手)	平成2年度	昭和56年度
都市計画決定	昭和26年6月14日 昭和61年1月31日	平成2年12月25日 平成11年8月17日 (一部変更)	平成8年11月5日	昭和40年12月28日 昭和54年2月6日	平成19年4月24日	平成4年1月21日	昭和39年度
工事着手	平成15年度	平成11年度	平成14年度	昭和41年度	未着手	平成9年度	昭和56年度
開通区間	平成19年12月13日 かくとう 宮前町交差点(下り) 右折レーン2車線化	平成15年3月21日 かくとう 川越町南福崎 ひろながちよう ～四日市広永町 (伊勢湾岸自動車道 重複区間) (L=3.6km) 平成22年3月28日 あさひ みえ朝日IC おおやちどみた ～④大矢知富田線 (L=1.6km) 平成23年3月26日 おおやちどみた ④大矢知富田線 かみえびらぶく ～④上海老茂福線 (L=1.0km) 平成22年3月28日 かみえびらぶく ④上海老茂福線 たるさか ～④垂坂1号線 (L=0.9km)	平成19年8月23日 おおさか 大阪行きランプ (オンライン) (L=0.7km) 平成20年3月23日 なごや 名古屋行きランプ (オフランプ) (L=0.7km)	～昭和50年度 全線 暫定2車開通 昭和55年度～平成10 年度 かみふかやべ 桑名市上深谷部 じょうなんいやべ ～同市城南和泉 完成4車開通 (L=9.4km) 平成22年2月15日 たどりょうじしものしづ 桑名市多度町下野代 かみふかやべ ～同市上深谷部 完成4車開通 (L=1.5km)	未開通	未開通	(名阪国道L=41.6km) 昭和40年12月 全線 暫定2車開通 昭和55年3月 全線 完成4車線開通

お問合せ先



夢を広げるみちづくり、ほくほくネットワーク
国土交通省中部地方整備局

北勢国道事務所

〒510-8013 三重県四日市市南富田町4-6

TEL : (059) 363-5511 (代) FAX : (059) 363-5521 (代)

〒519-0165 三重県龜山市野村4-3-25 (管理課)

TEL : (0595) 82-1312 (代) FAX : (0595) 83-1319 (代)

〒518-0842 三重県伊賀市上野桑町2055 (上野維持出張所)

TEL : (0595) 21-3011 (代) FAX : (0595) 21-9742 (代)

ホームページアドレス <http://www.cbr.mlit.go.jp/hokusei/>

携帯電話用サイト <https://www2.cbr.mlit.go.jp/hokusei/keitai/>



北勢国道事務所が実施する事業については上記ホームページでもご覧いただけます



道路施設の損傷、路面の汚れ(油・土砂)、路面の穴ぼこ、落下物など。

道路の異状を発見したらご一報ください。

緊急通報 #9910へ

※高速道路については、道路名、進行方向、キロポスト、

周辺の施設名等をご確認いただきますようお願いします。

※道路交通法により運転中の通話は禁止されています。

安全な場所に停車しておかけください。